

金沢市持続可能な社会を形成するための連絡会ニュース

第17号 平成16年3月18日発行

環境活動の輪のさらなる拡大を目指して！

連絡会、新たな2年間の活動へ

「金沢市持続可能な社会を形成するための連絡会」は、平成12年7月に市内34の事業者で発足し、地球温暖化防止実行計画の策定や廃棄物削減、グリーン購入推進などを目的に活動してまいりました。現在93社が参加する中で会員の環境保全活動の輪をさらに市内事業者に広めていくため、平成16、17年度の2年間、活動を継続することになりました。

運営委員紹介

連絡会運営委員に次の5社の担当者に引き続き就任いただくことになりました。

運営委員	中橋システム(株)	中橋 和夫
運営委員	松村物産(株)	岩脇 暁夫
運営委員	(株)東洋設計	坂野 俊紀
運営委員	真柄建設(株)	西田 隆男
運営委員	ホクショー(株)	室井 光一

(敬称略)

会員の継続参加、新たな会員の参加を募集します

現会員の継続参加に加え、新たな会員を募集します。この機会にぜひご参加いただき、社内の環境保全活動にお役立てください。



事務局(金沢市環境保全課内) TEL234-5132

金沢市持続可能な社会を形成するための連絡会規約

- (名称)
第1条 本会は、「金沢市持続可能な社会を形成するための連絡会」(以下「連絡会」という。)と称する。
- (目的)
第2条 連絡会は、市内の企業が一社でも多く地球温暖化防止実行計画を策定するよう支援するとともに、廃棄物削減やグリーン購入の推進を図ることなどにより、「持続可能な社会」の形成に資することを目的とする。
- (事業)
第3条 連絡会は、前条の目的を達成するため、次の事項を行う。
- (1)地球温暖化防止実行計画の策定に関すること
 - (2)廃棄物削減、リサイクル推進に関すること
 - (3)グリーン購入の推進に関すること
 - (4)市内企業への環境保全活動の普及啓発に関すること
 - (5)会員相互の交流、情報の交換
 - (6)その他連絡会の目的を達成するために必要な事項
- (会員)
第4条 連絡会の会員は、金沢市内に事業所・工場等を有する企業で構成する。
- 2 連絡会に幹事会を置く。

平成12年7月10日制定 平成16年3月17日改正

- (運営委員)
第5条 連絡会に運営委員若干名を置く。
- 2 運営委員は、幹事会員の中から専任し、運営委員の中から互選する。
- (職務)
第6条 運営委員は、事務局とともに連絡会の運営について協議する。
- (会議)
第7条 会議は、代表運営委員が招集する。
- 2 会議の進行は、運営委員および事務局がこれを司る。
 - 3 幹事会は、地球温暖化防止実行計画を策定した企業で構成する。
- (会費)
第8条 会員の会費は、2年間で2千円とする。
- (事務所および事務局)
第9条 連絡会は、事務所および事務局を金沢市西念3丁目4番25号(金沢市環境保全課内)に置く。
- (設置期間)
第10条 第2条の目的を果たしていくため、連絡会の設置期間を平成18年3月31日までとする。

2年間の活動を振り返って

連絡会の平成14年度、15年度の主な活動を振り返ってみます。

1 全体会

第13回～第24回連絡会まで、計12回の全体会を開催しています。

①先進企業等の見学

リコー福井事業所の取り組み

社員一丸となって事業活動の中から徹底的にムダをなくす取り組みを推進し、リコー㈱で初めてのごみゼロ工場を実現しています。事務用品毎の型枠が入ったデスクや社員の環境教育に役立つ各種展示など独自の工夫が大変参考になりました。



戸室リサイクルプラザの見学

平成15年7月に戸室新保埋立場隣接地にオープンした戸室リサイクルプラザを市内団体として初めて見学



しました。運搬車から運ばれてきた容器包装プラスチックごみの量の多さを実感できました。

このほか、加賀製紙㈱や北陸電力㈱七尾大田火力発電所の見学を実施しました。

②先進企業等による講演会

日本IBM㈱の取り組み

日本経済新聞社の環境経営度調査で2001年、2002年の2年連続で製造業部門の第1位に輝いている日本IBMの環境経営について講演いただきました。特に印象的だったのが、「哲学」を持って取り組むこと。紙を20%減らすなら、全部のコピー機をプリセットで表裏印刷にする。ごみを減らすなら、ごみ箱からの回

収をやめ、所定の場所で分別する。行動に移せる仕組みづくりが大切であることを強調していました。

グリーン購入で変わる企業の環境活動

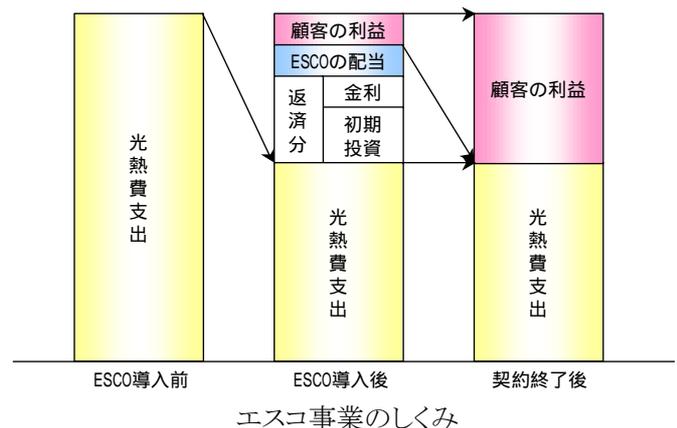
東京のグリーン購入ネットワーク事務局長を招いての講演では、ソニー㈱が消費者に対し商品の責任を持つことができるよう取引先に対してグリーンパートナー基準を設けている取り組みや滋賀銀行が頒布品にエコ商品を使用している事例、滋賀県のガソリンスタンドが回収廃油をリサイクルせっけんとして洗車に使っている事例などを紹介し、グリーン購入が社会全治を変える大きな原動力になると話していました。

ESCO(エスコ)事業の概要と展望

ESCOとは、Energy Service Companyの略称で、工場やビルの省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、それまでの環境を損なうことなく省エネルギーを実現し、その結果として得られる省エネルギー効果を保証する事業です。

現場と経営者双方が納得できるスキームとなっていることが大きな特徴で、最近では初期投資を必要としないシェアード・セイビングス方式による大規模な改修が増えているそうです。

県内の導入は、まだまだ進んでいませんが連絡会では、今後様々な機会を捉え、ESCO事業に関する情報提供を行っていく予定です。



このほか、「企業に求められる廃棄物の分別・適正処理」「エコドライブの実践方法」「経費節減に役立つ電気の省エネルギーの進め方」「三重県が進める環境先進県づくり」などを開催しています。

[ESCO事業やエコドライブについての詳細な内容が分かるパンフレットの在庫があります。必要な方は事務局へご連絡ください。](#)

2 幹事会

地球温暖化防止実行計画を策定した企業が増えてきたことから、さらに会員同士の意思疎通を図り、お互いの活動を高める場として、平成14年度から幹事会を開催しています。業種毎に4つのグループに分かれ、毎回テーマを決めて活動しています。特に幹事社自身が取り組んでいる内容を同じグループの会員に紹介しているのが大きな特徴です。

(共通のテーマでの開催)

- 「地球温暖化防止実行計画の取り組み状況」
- 「東部クリーンセンター、リサイクルプラザ見学」
- 「(株)サワヤの蛍光灯リサイクル見学」

(株)サワヤは蛍光灯をガラス製品にリサイクルする全国で唯一の業者で、工場とガラス工房を見学しました。



Aグループ (卸・小売業中心)

- 内容 「日本たばこ産業(株)の取り組み見学」
- 「古紙分別の進め方」ど

Bグループ (建設業中心)

- 内容「多量排出事業者の産業廃棄物処理計画と真柄建設(株)の ISO14001 の取り組みについて」
- 「ドイツ等環境先進都市視察報告」
- 「オフィスの紙使用の現状と対策について」
- 「土壌汚染対策法の概要、土壌汚染調査・修復への取り組みについて」
- 「作業現場でのダンプ・重機のアイドリングストップについて」
- 「(株)金沢環境サービス公社、(株)国土開発センターの ISO14001 の取り組みについて」

Cグループ (通信・運輸業中心)

- 内容「ミナミ金属(株)のリサイクルの取り組み」

Dグループ (製造業中心)

- 内容「日機装(株)金沢製作所見学」
- 「ホクショー(株)松任工場見学」
- 「中村留精密工業(株)見学」



中村留精密工業(株)のリサイクルボックス

地球温暖化防止実行計画

策定企業が55社に

平成15年11月26日、通算6回目となる地球温暖化防止実行計画の認定授与式が、金沢市役所兼六会議室で行われました。今回計画を策定したのは、次の7社で、これまでに計画を策定した48社と合わせて55社となりました。



策定企業名 (計画書提出順)

- 金沢中央郵便局
- シブヤマシナリー株式会社
- 城東建設株式会社
- 株式会社北都組
- 株式会社金沢ニューグランドホテル
- 北陸セキスイハイム株式会社
- 加賀建設株式会社

これまでの計画を策定した55社の概要は、次のホームページ見ることができます。

<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kanho/>

「地球温暖化防止実行計画」とは

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、事業活動に伴って排出する温室効果ガスを削減するための計画を作り、取り組んでいくことが求められています。連絡会では、この計画づくりをお手伝いしています。

廃棄物削減、省エネ活動に役立つ

環境保全活動推進ガイドブック

■環境保全活動推進ガイドブックとは

今や規模や事業形態を問わず、あらゆる事業者が自主的・積極的に環境保全活動に取り組んでいくことが求められています。ただ、「環境保全活動が必要といわれても何から取り組んでいいかわからない」、「取り組みたくても人手が足りない」という声も聞こえてきます。

そこで、環境保全活動の基本となる廃棄物削減や省エネ活動をどのように進めていけば良いかの参考となるものとして作ったのが「環境保全活動推進ガイドブック」です。

■主な内容

1 廃棄物活動編

廃棄物関連法のあらましや分別・処理に関するルールなどの基礎知識、現状把握活動やリサイクルの進め方などを紹介

2 省エネルギー活動編

現状把握の方法や活動目標の立て方、評価の方法などを紹介

3 ステップアップ編

事業活動全般にわたる廃棄物削減や省エネ活動を進めていくための行動づくりの手順とグリーン購入、環境にやさしい製品づくりなどを紹介

4 資料編

環境法令や条例を知りたいときに役立つホームページや環境保全活動のための支援制度、関連行政機関などを紹介

■特徴

1 先進事業者の取り組み事例が満載

廃棄物の分別一覧表や社員意識啓発のための掲示物、省エネに取り組んだ効果など様々な業種の事例を掲載しています。

2 行動計画づくりをサポートするCDソフト付き

廃棄物削減や省エネ活動を効果的に進めるには現状を分析し、目標を持った行動計画を作成するのが効果的です。現状把握のための計算ソフトや社員教育に役立つ教育ソフト付きです。

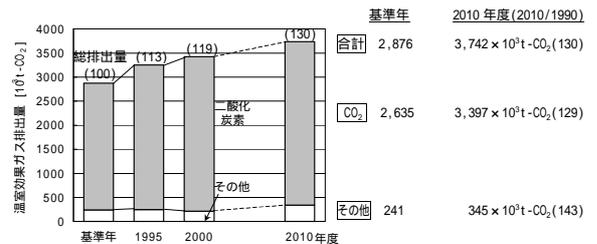
現会員の継続参加や新規入会時にこのガイドブックを差し上げます。

金沢市省エネルギービジョン

金沢市では、地球温暖化対策を進めていくために、市民・事業者・行政が一体となって地域ぐるみに省エネルギーに取り組む行動指針となる「金沢市省エネルギービジョン」を平成16年2月に策定しました。

金沢市の温室効果ガス排出量の将来予測

1990年から2000年の10年間で19%も増加し、このまま何ら対策を講じないと、2010年には30%の増加が見込まれています。



省エネルギー目標

金沢市の2010年度のエネルギー消費量

2000年度比7.7%削減

事業者向けの重点計画

- ・職場での省エネルギー研修・教育の支援
- ・中小企業向け「(仮称)省エネルギー行動計画」策定制度の検討
- ・省エネルギー事業者表彰制度の創設
- ・ISO14001、環境活動評価プログラムに対する情報提供
- ・ビルエネルギーマネジメントシステムの普及推進
- ・省エネルギー機器、省エネルギー設備の情報提供
- ・省エネルギー診断の推進
- ・ESCO事業の推進
- ・「(仮称)金沢市省エネルギー・環境配慮計画」策定制度の検討
- ・産学官の連携による金沢ブランドの省エネルギービジネス検討会の設置

連絡会では、ビジョン実現に向けた省エネ普及啓発活動に取り組んでいきます。会員の皆様においても、市内の一事業者として省エネ活動の積極的推進をよろしくお願いします。



金沢市持続可能な社会を形成するための連絡会

事務局(金沢市環境保全課内)

〒920-0024 金沢市西念3丁目4番25号

TEL076-234-5132 FAX076-220-2518

<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kanho>